

## 会 議 録 ( 要 約 )

会議の名称	平成22年度 第4回 行政改革推進委員会		
開催日時	平成22年11月26日(金) 午後6時03分～午後8時00分		
開催場所	南アルプス市役所 本庁舎 3階 会議室	公開の可否	可
事務局	総合政策部 行政システム課	傍聴者数	1人
出席者	委員	内田清委員、森岡千代野委員、金丸一元委員、渡邊次郎委員 金丸博樹委員 石川佳世子委員、師岡恵子委員、加藤里美委員、渡辺聖香委員、三木仁委員 伊東徹委員【欠席】桜田清委員【欠席】村松章雄委員【欠席】 日高昭夫アドバイザー【欠席】	
	関係者	村松総合政策部長、斉藤総合政策部次長	
	事務局	清水行政システム課長、石川課長補佐、塩沢、伊藤	
内 容 ( 要 約 )			
<p>開会 : 午後6時03分</p> <p>【施設のあり方について】</p> <p>多くの施設があるが地域的な偏りや利用状況などから見て、本当に役に立っている施設かどうかなど検証していく必要がある。</p> <p>既にある「公共施設の再配置方針」に沿って行うべきであり、再度協議事項とすることに疑問がある。</p> <p>「公共施設の再配置方針」は市の方針として、内部資料として作成されている。具体的な内容は明記されていない。あくまでも市の方針としての資料である。</p> <p>個々の施設について、利用状況・経費などを示されなくては議論できない。</p> <p>個々の施設について、検討を行っていくのではなく、「公共施設のあり方」について、大きな意味で協議していく必要がある。</p> <p>施設の再配置を考える中では、地域の高齢者のことも視野に入れて考えていくべきであり、施設が利用しやすいような方法を考えながら「統廃合」も考えていかなければいけない。</p> <p>使用料などが「無料」の施設については、「受益者負担」の観点から「有料」とすることも必要である。</p> <p>各施設の利用状況などについて、市民に市ホームページなどで情報公開を行ない、周知することが必要である。</p> <p>施設の所管課だけでなく、市全体として施設の利用状況や費用などから施設の必要性について、協議する機関やシステムの構築が必要である。</p> <p><b>行政改革推進委員会として</b></p> <p>「施設の利用状況、収益、建て替え時期や費用、維持管理費等を把握し、継続する施設・統廃合する施設など所管課だけで協議を行っていくのではなく、市の施設全体を検証していく組織作りが急務とされる。また、地域住民の利用を損なわないよう、交通機関にも配慮する。」よう提言書を提出する。</p>			

**【次回の検討議案】**

「支出」を抑える取り組みも行政改革として必要であるが「収入」を増やす取り組み、「山岳観光」「農業」についても意見提案が必要である。

「観光収入」については、県や近隣市町村と「横のつながり」を持った取り組みが必要である。  
地域活動など「市民が出来ること」について、地域活動への補助、ボランティア活動も含んだ中で意見集約する必要がある。

**次回の検討議案として**

「市の財政負担を軽減するために市民が出来ること」については、「ボランティアの育成」「地域への補助基準」などについて、また、収入を増やす取り組みとして、「農業」「観光」については、「現在の取り組み状況」「県・近隣市町村との横断的な取り組み」などについて、担当課から説明を受け、各委員から意見提案をする。

閉会 : 午後8時00分

備 考	
-----	--